



かけはし

〒611-0021
京都府宇治市宇治里尻36-26
TEL 0774-25-2500(代)
FAX 0774-25-2353
URL <http://www.takedahp.or.jp/>

2020年度

新任医師のご紹介

4月から宇治武田病院に新しく着任された先生方をご紹介します

No.78 令和2年 5月31日発行

武田病院グループ経営理念

●思いやりの心

武田病院グループ基本方針

- ブリッジ・ザ・ギャップス
- 患者さんの権利の尊重
- 地球にやさしい環境づくり

宇治武田病院 基本方針

1. 安全で質の高い医療の提供のために日々研鑽し、技術と知識の習得に努めます。
2. 地域の医療機関、福祉、介護施設との連携を深め、地域医療の中核を担っていきます。
3. 患者さんとの良い信頼関係を築き、人間としての尊厳を重んじる医療を行います。
4. 患者さんを「私たちの家族」と考え、最良の結果が得られるように最善の努力を払います。
5. 環境にやさしい病院を目指します。
6. 働きやすい労働環境を創造するために、お互いを尊重する人間性豊かな医療人を目指します。
7. 仕事を通じて社会貢献できるよう努めます。

外科

◎消化器内科との連携も

消化器外科の専門医として全ての領域の治療を行います。虫垂炎や胆石など、内科治療と外科治療の選択の幅のある疾患では、患者さんの病態を見逃さないよう心がけ、消化器内科の医師とも常にカンファレンスで話し合い、より良い治療ができるよう努めています。

◎がん患者さんへの対応

胃がんや大腸がんの患者さんと接することが多いですが、健診や人間ドックを受けて見つかった早期発見の方は、完治された症例も数多く経験しています。これらに対する手術は最近では、腹腔鏡手術がスタンダードになっています。腹腔鏡手術はこの他にもヘルニア、盲腸や腸閉塞などで有用です。可能な限り患者さんに負担の少ない治療を勧めていきたいと思えます。

◎日頃の心がけ

患者さんに分かりやすく、特に専門用語などは使わないように説明することを心がけています。治療の選択が他の病院に比べ制限されることのないよう努めています。場合によっては、当院で治療を全て済ませるのではなく、近隣のクリニックや大学病院と連携・委託できるように配慮しています。専門的な情報をわかりやすく提供し、患者さんやご家族への「安心・安全」の治療を心がけます。

きん しゅういち

金修一 主任部長

- 日本外科学会：専門医
 - 日本消化器外科学会：専門医
 - 日本消化器病学会：専門医
 - 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医
 - 日本内視鏡外科学会
 - 日本臨床腫瘍学会
 - 日本臨床外科学会
- 専門 消化器外科



◎患者さんに合ったがん治療を

基本的には、ガイドラインに則った治療を心がけています。しかしながら患者さんには各々の環境が違い、個人個人に合った治療が大切です。患者さんへの対応をどうすれば確かな治療になるのか、日頃からスタッフと一緒に考えるようにしています。病状を告知した際に患者さんが落ち込んでしまわれることもあり、少しでも前向きになれるように丁寧に説明します。確実な治療を行い退院される時に、明るく帰っていただけることが私たちの喜びです。

◎消化器がんは早期発見で治療

消化器がんは「早期発見で治療できる可能性」を分かりやすく説明するようにしています。腹腔鏡手術も積極的に行い侵襲の少ない手術を目指しています。

◎患者さんの悩みや心配には

患者さんは一人ずつ異なります。手術の悩みや、手術後の心配などが感じとれ、同じ治療でも人によって心配の内容は異なります。患者さんに合わせて話を聞き、理解ができやすいように説明できるよう心がけています。

あらかき やすのぶ

荒木康伸 部長

- 日本外科学会：専門医
 - 日本がん治療認定医機構：がん治療認定医
 - 日本消化器外科学会
 - 日本内視鏡外科学会
 - 日本臨床外科学会
 - 日本癌治療学会
 - 日本胃癌学会
 - 日本外科感染症学会
 - ICD制度協議会：インфекションコントロールドクター
- 専門 消化器外科



形成外科

かくたに さとし

角谷 聡 医長

○日本形成外科学会：専門医
○日本医師会：認定産業医

専門 形成外科一般、眼形成外科

◎形成外科の役割

形成外科がどういった科であるか、いまひとつ思い浮かばない患者さんも多いのではないのでしょうか。大まかには、皮膚の外科治療を行う科と考えていただければ良いと思います。皮膚のできもの手術の他、キズ・キズアトの治療や、顔面骨骨折の治療なども扱います。

◎眼のまわりの外科治療も実施

私はこれまで、総合病院で一般形成外科を、がん専門病院で再建外科を、大学病院では眼形成外科の研修をしてきました。宇治武田病院では、眼瞼下垂症などに対する瞼(まぶた)の外科治療や、眼のまわりの骨の骨折(眼窩骨折)の治療の他、涙の通り道である涙道の治療などにも力を入れていきたいと考えています。

◎日常診療で大切にしていること

患者さんご本人やご家族にしっかりと説明をし、十分に納得をしていただいた上で治療を受けていただくように心がけています。患者さんそれぞれに合った、適切な治療を受けていただけるよう努めてまいります。

歯科・歯科口腔外科

◎患者さんとのコミュニケーションについて

大藪先生 患者さんは悩みや病気と闘っています。患者さんにとって一番良いことを叶えてあげることが優先させています。

井倉先生 実際の現場で行われている治療のやり方と、教科書で学んできたこととのギャップに苦戦する日々ですが、お役に立つよう心がけます。

◎「ありがとう」が励みになる

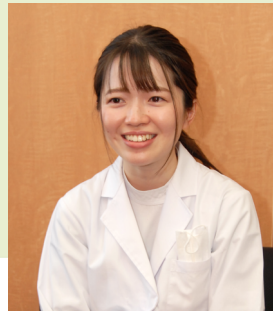
大藪先生 「ありがとう」と喜ばれることが励みになります。「しっかりと噛めると毎日が楽しくなる」と聞くとこちらも嬉しくなります。

井倉先生 食べることに深くかかわる治療なので、患者さんの生活に最も近い存在が歯科医だと思っています。

◎座右の銘

大藪先生 何かで読んだ「生きることは食べること」という言葉が印象にあります。食べる楽しみを最期の瞬間まで全うしたい。それが日頃の患者さんの楽しみであり、喜びでもあるはずなので、歯科医師にとっても同じ視点で接するつもりです。

井倉先生 「一日一日を大切にしたい」を心がけています。治療の勉強も一日を怠ると、その日一日を失うことになると思っています。後で、「あの時に勉強しておけば良かった」では意味がないと思っています。



おおやぶ ももこ
大藪 桃子 医員

※大藪先生は昨年着任

専門・得意分野
保存歯科、補綴歯科
口腔インプラント



いくら やすか
井倉 子佳 研修医

平素は患者様のご紹介で大変お世話になりありがとうございます。

この度のコロナ禍の関係で地域医療連携室としても、普段の訪問活動を自粛させていただき、医院の先生方のお声を聞かせて頂く機会を設けられず大変申し訳なく思っております。

さて当院では、4月より外科、形成外科に新任の先生をお迎えし診療を開始しております。今回のかけはしの内容にあります様に各先生方の専門性が活かせる様、地域医療連携室も全力でサポートさせて頂く所存です。

今後とも宜しく願い申し上げます。